

自己改革の 経過報告

平成30年度

「農家組合員の農業所得の向上」・「地域社会への適切なサービス提供」に向け、
自己改革実践計画および3か年計画に基づく取り組みを進めています。

主な取り組みの経過および今後の計画について報告いたします。



目次

1. 基本方針	2
2. 経営資源の投入実績	2
3. 産地力の維持・向上に向けた生産部会の強化	
(1) 生産部会等組織との意見交換会	3
(2) 市町農業行政に対する政策要請	4
(3) ブランド米「するがの極」の特産化に向けた栽培指導	5
(4) 「沼津茶」の消費拡大	6
(5) 「あしたか山麓裾野そば」の栽培・販売	7
(6) 「JAなんすん農産品商談会」による販売拡大	7
(7) 「なんすんマルシェ」による販売拡大	8
(8) 学校給食への食材提供	8
(9) 産直市・朝市における安全・安心・新鮮な農畜産物の販売促進	9
(10) GAP等第三者認証制度導入に向けた指導	9
4. 農業所得向上に向けた農業経営支援	
(1) JAなんすん農業経営支援制度	10
(2) 生産資材価格の抑制・生産性の向上	12
(3) 労働力の支援	13
(4) なるほど農業塾の開催	15
(5) 農家後継者育成雇用制度	15
5. 地域社会への適切なサービス提供	
(1) 農業メインバンク機能の発揮	16
(2) 財産と農業を次代へつなぐ相続相談の強化	16
(3) こども倶楽部によるファン作り	16
(4) 組合員等の暮らしを支える協同活動の展開	17
(5) 地域ふれ愛活動を通じた仲間づくり・地域活性化	17
(6) 地域の期待に応える活動の展開	18
(7) 地域への金融サービス提供に対する取り組み	18
(8) 准組合員の農業やJAに対する理解促進	18

■ 表紙写真：「するがの極」生産者とTAC(沼津市大平圃場にて)

1

基本方針

政府は、平成26年の規制改革会議における農協改革に関する意見をふまえ、JAグループに対し、以後5年間で農協改革集中推進期間と位置づけ、重大な危機感をもって自己改革に取り組むことを求めています。

こうした中、当JAでは、「JAなんすん自己改革実践計画（平成27年度～令和元年度）」を策定し、「農家組合員の農業所得の向上」・「地域社会への適切なサービス提供」に向け、投入する経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）を向こう5年間で30%アップさせる目標を掲げ、取り組んでいます。

2

経営資源の投入実績

平成30年度は営農指導事業に479百万円を投入しました。

自己改革実践計画の30%アップの目標額は96百万円※ですが、平成27年度からの4年間で目標を大きく上回る484百万円を増加投入し、農業振興に積極的に取り組んでいます。

※基準年度（平成25年度）投資額318百万円×30%=96百万円

営農指導事業支出

単位:百万円

基準年度 (平成25年度)	平成27 年度	基準年度 対 比	平成28 年度	基準年度 対 比	平成29 年度	基準年度 対 比	平成30 年度	基準年度 対 比
318	406	+88 ①	416	+98 ②	455	+137 ③	479	+161 ④

4年間の増加投入額 ① + ② + ③ + ④ = 484百万円

(1) 生産部会等組織との意見交換会

農家組合員の「思い・願い」を受け止めるため、平成30年度は、28部会との意見交換会を開催し、延べ210人の部会員が出席しました。



主な意見・要望に対する施策

①担い手の育成・支援について

対応：「なるほど農業塾」の充実を図り、新たに「農業実践講習会」を開催し、産直市・朝市の会員育成に取り組んでいます。（P15参照）

②農業機械（トラクター・耕運機）の購入にかかる費用助成について

対応：「農業経営支援制度」で「農業機械導入促進対策」を新設しました。（P10参照）

③労働力の支援について

対応：援農隊による電気柵の設置作業（無料）を新設しました。（P13参照）
また、農家と求職者の雇用契約を斡旋する「無料職業紹介所」の開設を予定しています。



生産部会等組織との意見交換会



なるほど農業塾「農業実践講習会」

(2) 市町農業行政に対する政策要請

地域農業が抱える課題を解決していくためには、行政等関係機関とJAがこれまで以上に連携を強め、より効果的な対策を講じていく必要があります。

そこで、生産部会等組織との意見交換会で集約した意見をもとに要望書を作成し、沼津市、裾野市、長泉町、清水町の首長に提出しました。

主要要請内容

沼津市

- ・「西浦みかん」の改植に伴う苗木助成の拡充
- ・「沼津茶」の消費拡大に向けたPR販売の実施

裾野市

- ・特産品の消費拡大対策への支援
- ・「裾野さくら」の植樹拡大による特産化と観光PR

長泉町

- ・特産品の消費拡大対策への支援
- ・「柿」栽培が盛んな町づくりプラン

清水町

- ・地域の特色を活かした農を通じた町づくり

共通事項

- ・ブランド米「するがの極」の生産・販売拡大に向けた支援
- ・学校給食への地元食材の提供
- ・鳥獣被害対策の強化
- ・担い手・新規就農者の確保・支援
- ・GAP・HACCP等の導入に向けた推進支援



岡田組合長から頼重沼津市長へ要望書を提出



岡田組合長から池田長泉町長へ要望書を提出



高村裾野市長との意見交換



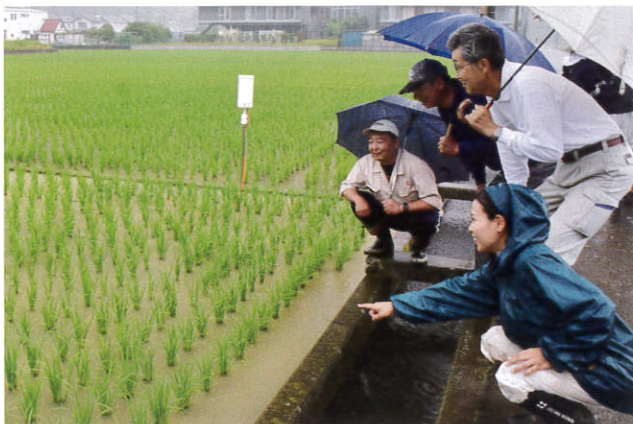
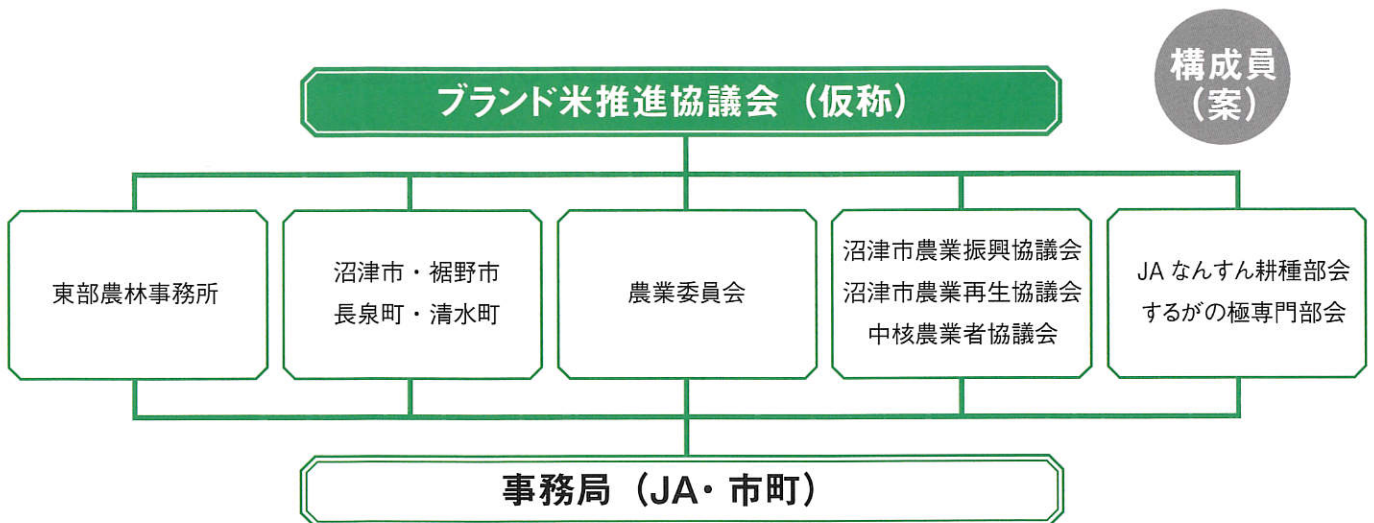
山本清水町長との意見交換

(3) ブランド米「するがの極」の特産化に向けた栽培指導

地域ブランド戦略
地産地消・販売拡大

	平成30年度実績	令和元年度計画
生産者数	12人	21人
作付面積	4.2ha	8.3ha
買取数量	16.6 t	45.5 t
販売価格	1,000円(2kg) 2,400円(5kg)	—

- 沼津市・裾野市・長泉町・清水町で生産され、当JAで定めた基準をクリアした一等米の「きぬむすめ」をJAが買い取り、ブランド米「するがの極」として販売しました。
- 平成30年産の「するがの極」の生産では、パディウォッチ（水田センサー）の設置やTACとコンサルタントの圃場巡回により、栽培管理を徹底しました。
- 平成30年10月29日、南駿農業振興協議会にて「するがの極」の生産・販売の拡大に向けて「ブランド米推進協議会（仮称）」の設立を決議しました。



TAC とコンサルタントによる圃場巡回



「するがの極」店頭試食販売

(4) 「沼津茶」の消費拡大

地域ブランド戦略
地産地消・販売拡大

① 沼津茶「素六」の生産・製造・販売

	平成30年度実績	令和元年度計画
原料茶葉買取数量	867kg	700kg
買取共販工場数	7工場	7工場

- T-GAP 認証を取得している7工場から沼津茶「素六」の原料となる茶葉を買い取り、生産と販売の拡大に取り組みました。
- 静岡茶の愛飲に関する条例にかかる取り組みの一環として、沼津市・長泉町・清水町の小中学校の児童生徒約20,000人に対し、水筒で学校に持参できる「沼津茶スティック素六」（約370,000包）を提供しました。
- 平成30年10月31日、児童や保護者のニーズに応えるため、店頭販売用の「沼津茶スティック素六」を発売しました。



「素六」茶葉の摘採



「沼津茶スティック素六」

② プライベートブランド商品「ぬまっチャ」の販売拡大

	平成30年度実績	令和元年度計画
ぬまっチャ販売数量	27,632ケース (663,168本)	28,000ケース (672,000本)

- 平成30年度より、CSR（企業の社会的責任）の一環として、「ぬまっチャ」の売り上げから1本あたり3円を沼津茶の産地振興のために使用する取り組みを開始しました。茶生産者からの要望に基づき、主に沼津茶のPRや食農教育活動等に使用する予定です。
- 卸業者やコンビニエンスストアをはじめ、店頭・イベント等での販売を強化し、年間27,632ケース（前年比160%）を販売しました。
- 令和元年5月2日のGW期間中に、沼津御用邸記念公園と沼津みなと新鮮館において、頼重沼津市長と当JA岡田組合長による初の沼津茶試飲PRイベントを開催し、沼津茶新茶の一煎茶パックを無料配布しました。



沼津茶試飲PRイベント

(5) 「あしたか山麓裾野そば」の栽培・販売

地域ブランド戦略
地産地消・販売拡大

	平成30年度実績	令和元年度計画
夏ソバ作付面積	2.5ha	8.0ha
秋ソバ作付面積	16.0ha	17.0ha
合計	18.5ha	25.0ha

- 平成30年4月24日、そば店「五竜庵」が5周年を迎え来店者10万人を達成し、記念式典を開催しました。
- 平成30年11月1日、「あしたか山麓裾野そば」の普及拡大に向け、新商品「あしたか山麓裾野そば乾麺」を発売しました。



そば店「五竜庵」5周年並びに10万人達成記念式典



あしたか山麓裾野そば乾麺

(6) 「JAなんすん農産品商談会」による販売拡大

地域ブランド戦略
地産地消・販売拡大

	平成30年度実績	令和元年度計画
来場業者数	18社	下期に開催予定
商談数	39商談	

- 平成30年11月13日、プラサヴェルデで「JAなんすん農産品商談会」を開催しました。地元の飲食店や食品加工業者を招待し、TACや生産者等による個別商談を実施しました。

商談成約実績
(平成31年4月末現在)

品 目

プチヴェール・トマト・沼津ねがた白ねぎ・
きんかんこん太・タマネギ・ぬまっちゃ

取引先数

5社



白ネギの商談



柑橘の商談

(7) 「なんすんマルシェ」による販売拡大

地域ブランド戦略
地産地消・販売拡大

		平成30年度実績	令和元年度計画
夏マルシェ〈お中元〉	商品数	71商品	58商品
	受注件数	5,545件	—
冬マルシェ〈お歳暮〉	商品数	67商品	下期に実施予定
	受注件数	5,502件	

■ 贈答用カタログにより、県内外の消費者に向けて地元農畜産物やプライベートブランド商品を発信し、知名度向上や消費拡大に取り組んでいます。

参考：買取販売主要品目 ・西浦みかん・長泉メロン・裾野いちご・四ッ溝柿・長泉産大和芋
・裾野産大和芋・きんかんこん太



なんすんマルシェ
(夏・冬)



なんすんマルシェ
(特産品限定)

(8) 学校給食への食材提供

地産地消・食農教育
販売拡大

- 沼津市・裾野市・長泉町・清水町の学校給食に対し、地元農畜産物の食材提供をすすめています。学校給食における地場産率の向上により、地域農業の振興を図るとともに、子どもたちの地域の食と農への愛着や関心を高めるための食農教育に取り組んでいます。
- 平成30年度は、市町の学校給食会に生産部会等の栽培品目を提案し、タマネギ・イチゴ・四ッ溝柿・サツマイモ・ダイコン・ホウレンソウ・シイタケなどをJAが直接買い取り、学校給食に提供しました。
- 令和元年度は、地元農畜産物の直販にかかる集出荷体制を整備し、学校給食への食材提供の拡大を目指しています。



ふれあい給食会

(9) 産直市・朝市における 安全・安心・新鮮な農畜産物の販売促進

販売拡大

	平成30年度実績	令和元年度計画
来店客数	334,000人	400,000人
会員数	526人	560人
売上金額（税抜）	432,289千円	—
残留農薬検査点数	1,008点	1,000点

※来店客数は、金岡産直市・西部産直市KAU～ら・長泉産直市・JAふれあい市の4店舗の実績。

- 「なるほど農業塾」を通じて、産直市・朝市会員の知識・技術の習得支援に取り組みました。
- 産直市連絡協議会を開催し、産直市・朝市の課題解決に向けて協議を行い、当JA産直市物流の活用とJA信州うえだとの産地間連携により、リンゴなど旬の特産品を産地直送で仕入れ、販売を行いました。



長泉産直市

(10) GAP等第三者認証制度 導入に向けた指導

担い手支援

	平成30年度実績	令和元年度計画
JGAP認証取得組織	荒茶共販工場（1工場）	GAP研究会（仮称） 沼津ねがた白ねぎ部会

- 東京オリンピック・パラリンピックを背景に、全国で生産者や産地としてGAP認証の取得が進められています。当JAでは、GAP認証の取得支援のため、「農業経営支援制度」にGAP促進対策を新設し、TAC等による推進指導に取り組んでいます。
- 平成30年度は、沼津市の「荒茶共販工場」1工場がJGAP認証を取得しました。
- 令和元年度は、「荒茶共販委員会」内にGAP研究会（仮称）を立ち上げ、JGAP団体認証の取得を目指します。

※GAP認証とは、生産工程における安全管理などの取り組みを第三者による審査を受けることで証明され、競争力や品質の向上、農業経営の改善等に役立つとされています。



沼津ねがた白ねぎ部会



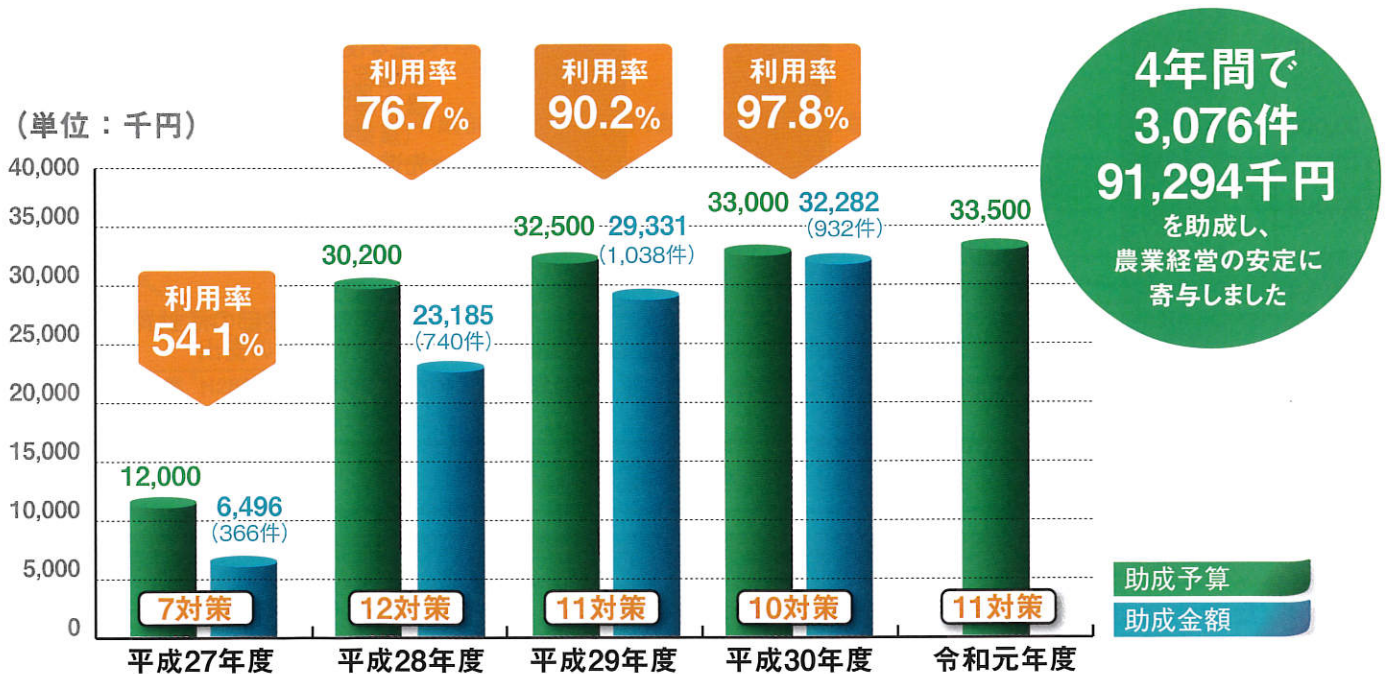
荒茶共販委員会

(1) JA なんすん農業経営支援制度


 営農指導
コスト低減

平成27年度より、生産基盤の整備促進や生産コスト低減のため、「農業経営支援制度」を創設し、農家組合員の営農支援を実施しています。

平成27年度～令和元年度における農業経営支援制度の助成金額



令和元年度 農業経営支援制度の対策一覧

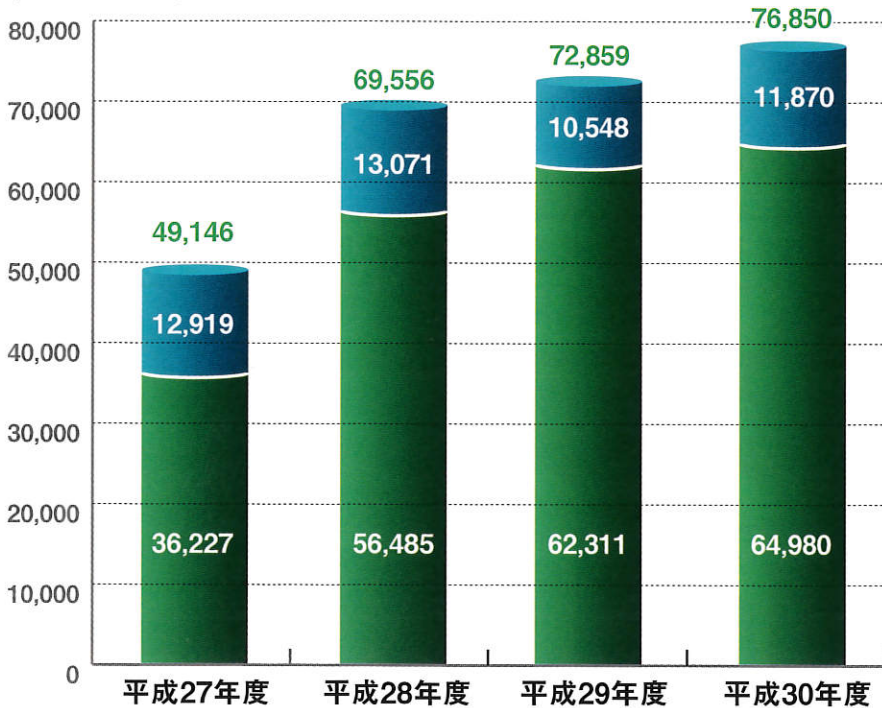
対象作物	対策名	年間総額 (千円)
作物全般	農業用ハウス対策	4,500
	農業機械導入促進対策	5,000
	有害鳥獣被害対策	1,500
	新規就農者対策	800
	GAP促進対策	500
柑橘	柑橘品質向上対策・柑橘改植促進対策	8,000
茶	茶品質向上対策・茶改植促進対策・茶転作促進対策	8,700
畜産	畜産飼料対策	4,500
合計		33,500

平成27年度～平成30年度における指導事業実績

営農指導
コスト低減

農家組合員の営農指導と地域の生活・文化改善に向けて支出しています。

(単位：千円)



4年間で
268,411千円
を支出しました

営農改善費

<主な用途>

- ・生産部会の活動費
- ・農畜産物の品質向上
(農業経営支援制度助成金含む)
- ・先進地への研修費
- ・食の安全・安心対策費等

生活文化事業費

<主な用途>

- ・青壮年部・女性部の活動費
- ・食農教育等への支出

令和元年度 営農改善費に関する主な変更点

組織名	生産部会等組織からの意見・要望	予算への計上金額
あしたか牛推進協議会	遠隔セリ取引導入費用	100千円
プチヴェール部会	①防風対策資材の助成 ②苗木購入費用の助成	①20%助成 ②苗木1本あたり5円助成
長泉メロン部会	視察研修費の助成	50千円
新設 沼津ねがた白ねぎ部会	品質向上・生産拡大に向けた助成	統一肥料20%助成 視察研修費300千円
あしたか山麓裾野そば部会	土壌改良剤・試験栽培費の助成	300千円

(2) 生産資材価格の抑制・生産性の向上

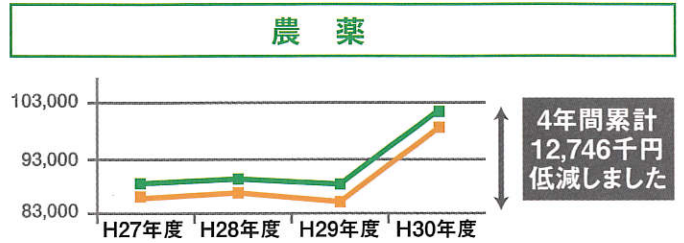
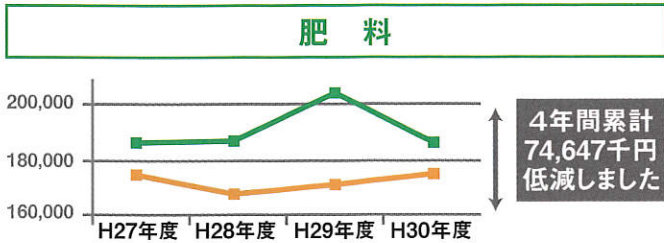
営農指導
コスト低減

① 生産資材価格の抑制

肥料・農薬の予約注文商品と特別価格商品の共同購入をすすめています。

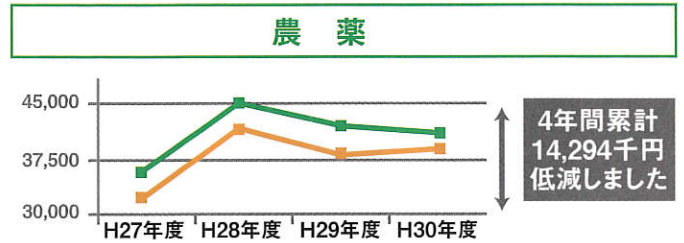
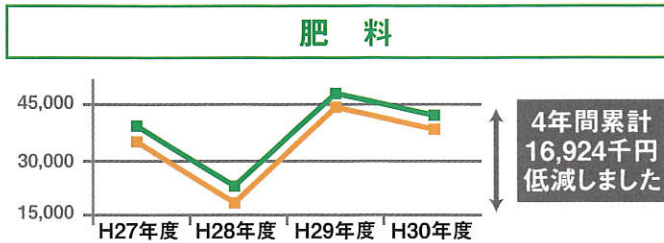
予約注文商品の4年間の推移

定価供給総額 抑制供給総額 (単位: 千円)



特別価格商品の4年間の推移

※平成30年度は肥料14品目、農薬16品目の価格を引き下げました。



- ※予約注文商品とは、当JAであらかじめ数量を取りまとめて発注することにより、価格抑制している商品です。
- ※特別価格商品とは、当JAが他店に対抗して価格を抑制し、販売している商品です。
- ※定価供給総額とは、定価で販売した場合の試算です。
- ※抑制供給総額とは、当JAが価格抑制に取り組み、実際に販売した総額です。

② 土壌診断

営農指導
コスト低減

土壌診断結果から過剰な養分は減らし、足りない養分は必要量を施用指導することで、適正施肥による収量・品質の安定化と施肥コストの低減を図っています。

土壌診断点数	平成30年度実績	令和元年度計画
		824点



土壌農薬分析センターによる検査

土壌診断結果報告書						土壌番号	29415
地域	本部	種	実行年度	肥料	施肥日	分析年度	29416
2048-02	-	A	177			29416	29416

分析結果と改善目標				目標値に対する分析値の比率		肥料削減 (0%以内)
分析項目	単位	分析値	目標値	比率	改善	
全窒素	mg/100g	35.0	30.0	117%	削減	肥料削減 (0%以内) ・肥料、化学に比べて効果が少ないです。 ・リン酸が少なくなっているため 補給しましょう。 ・窒素分は土壌に残っていないので 施肥は必要量までください。
速効性窒素	mg/100g	12.0	10.0	120%	削減	
遅効性窒素	mg/100g	23.0	20.0	115%	削減	
全リン	mg/100g	15.0	15.0	100%	維持	
速効性リン	mg/100g	10.0	10.0	100%	維持	
遅効性リン	mg/100g	5.0	5.0	100%	維持	
全カリ	mg/100g	15.0	15.0	100%	維持	
速効性カリ	mg/100g	10.0	10.0	100%	維持	
遅効性カリ	mg/100g	5.0	5.0	100%	維持	
全水素	mg/100g	15.0	15.0	100%	維持	

肥料削減と施肥量 (10a当たり)				
分析値	削減率	中心	削減量	削減率
全窒素	0	0	50	30%
速効性窒素	0	0	20	20%

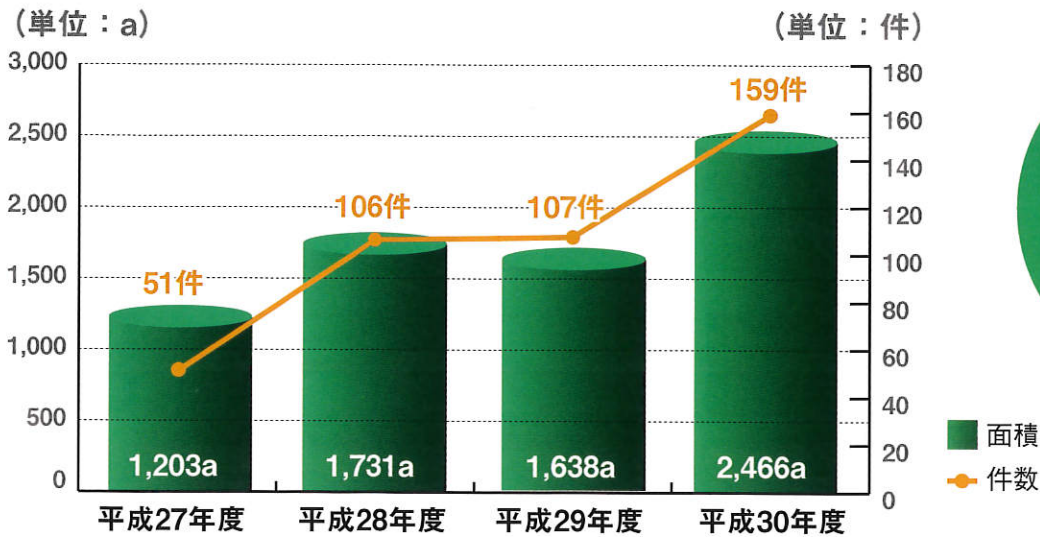
土壌診断結果報告書

(3) 労働力の支援

① 援農隊

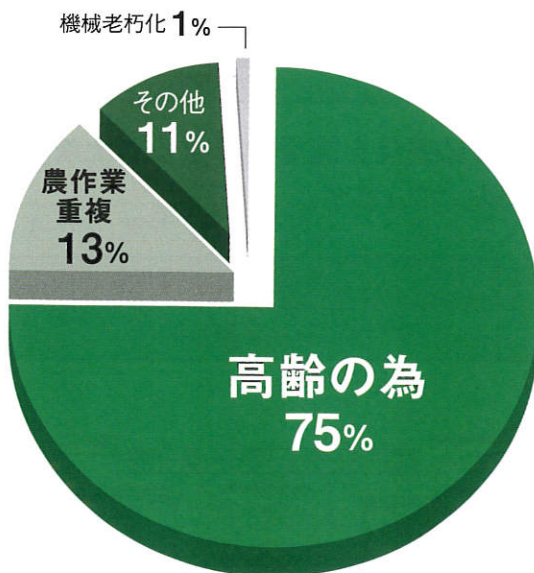
平成27年度より、荒廃農地や農業担い手の高齢化、人手不足などの問題を解決するため、農家組合員の農作業を請け負う「援農隊」を配置し、肥料・農薬の散布や除草作業などの労働力を支援しています。

平成27年度～平成30年度における援農隊の活動実績



4年間で
423件
7,038a
の農作業を
受託しました

援農隊の委託理由



除草作業



電気柵設置

② 援農ボランティア

平成22年度より、農家の収穫作業などを手伝う「援農ボランティア」を地域住民から募集しています。労働力支援と合わせ、農家との交流を通じて、ボランティア参加者の農業に対する理解と関心を深めることにもつながっています。

援農ボランティア実績

作物	実施期間	支援農家軒数(軒)	ボランティア延べ人数(人)
西浦みかん	平成22年度～	247	3,104
沼津茶	平成23年度～	18	555
四ッ溝柿	平成24年度～	42	1,246
キンカン	平成27年度～	12	379
長泉白ネギ	平成29年度～	4	378
合計		323	5,662

9年間で
支援農家323件
ボランティア
延べ5,662人
が参加しました



西浦みかん



長泉白ネギ



参加者の感想・意見

- ・農家の方から1つ1つ丁寧に扱うようにと説明があり、作物に対する愛情を感じることができた。
- ・やりがいがあり楽しかったので、次回も参加したい。
- ・知人・友人にも地元農産物のすばらしさを伝えていきたい。

農家組合員の感想・意見

- ・長年同じ方に来ていただいているので、気心が知れていてやりやすい。
- ・積極的に参加してくれる方がいて、農作業を早く終わらせることができた。
- ・雨天が多い中、ボランティアが手伝ってくれて大変助かった。



(4) なるほど農業塾の開催

担い手支援

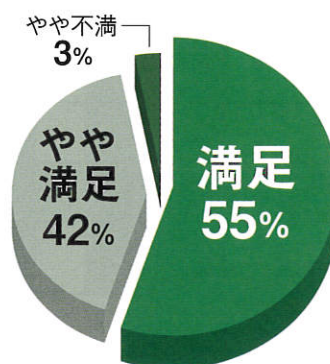
	平成30年度実績	令和元年度計画
テーマ・講座数	8テーマ・18講座	6テーマ・20講座
講座内容	①農業基礎講習会 ②農機具講習会 ③玉葱講習会 ④プチヴェール栽培講習会 ⑤花の寄せ植え講習会など	①農業基礎講習会 ②農業実践講習会 ③農業税務基礎講習 ④青壮年部員向け講習 ⑤産直市会員向け講習など
延べ参加人数	427人	470人

■ 後継者・新規就農者・定年帰農者などを対象に新たな担い手育成に向けたセミナーを開催し、栽培技術や経営に関する知識の習得を支援しました。

■ 「なるほど農業塾」の参加者を対象に畑の土壌分析（無料）を行い、TACによるフォロー訪問により、分析結果に基づいた栽培アドバイスや施肥・防除等の提案を行いました。

(5月・9月)

参加者の満足度



TACによるアドバイス

(5) 農家後継者育成雇用制度

担い手支援

■ 平成19年度より、次代を担う農家後継者の育成を目的とした契約職員を募集しています。農業に関わる仕事に就き、青壮年部加入による若手農家の仲間づくりや就農後に役立つ資格取得なども支援しています。

資格取得例：営農指導員・毒物劇物取扱責任者



南部営農経済センター 相磯千明 4年目

職員1年目～3年目は、本店で産直市・朝市の担当をしていました。現在は、地元の南部営農経済センターでみかんに関わる仕事を行っています。就農後を見据え、制度利用中に多くの事を学び、高品質なものを出荷できる農家を目指しています。

(1) 農業メインバンク機能の発揮

TACと融資担当者の連携による相談機能発揮と農業金融サービスの提供

	平成30年度実績	令和元年度計画
農業融資	138,240千円	140,000千円
農業経営アドバイザー有資格者	15人	16人

※農業経営アドバイザーとは、農業経営者から寄せられる幅広い要望に専門的かつ柔軟に対応して、経営発展を支援できる人。

TAC（営農指導員）と融資担当者が連携し、農業経営に対する相談に応え、適切な農業金融サービスを提案します。

(2) 財産と農業を次代へつなぐ相続相談の強化

新規取組

「組合員相談課」新設。組合員の相続・事業承継の悩みに個別対応

	平成30年度実績	令和元年度計画
相談対応件数	113件	不動産相談センターとの連携による専門的な相談対応の実施

平成30年度より、組合員の相続や事業承継の相談専門部署「組合員相談課」がスタートしました。初年度から多くの組合員に相談をいただきました。

令和元年度は、不動産相談センターとの連携を強化し、さらなる専門的な相談にも対応していきます。



相談対応

(3) こども倶楽部によるファン作り

こども倶楽部会員を対象としたイベントの実施

	平成30年度実績		令和元年度計画	
イベント内容	ベビーマッサージ	20人	ベビーマッサージ	20人
	リトミック体操教室	17人	リトミック体操教室	20人
	イチゴ収穫体験	148人	イチゴ収穫体験	150人
	イモ掘り	22人	イモ掘り	30人
	会員数	617人	会員数	675人

管内在住の妊産婦・乳幼児を対象に会員組織をつくり、子どもの年齢に合わせた交流・体験教室を開催し、多くの会員に参加いただきました。

(4) 組合員等の暮らしを支える協同活動の展開

あぐりスクールの実施

	平成30年度実績	令和元年度計画
参加児童数	100人	100人
実施日数	10日	10日

次代を担う子どもたちに農業体験と農畜産物について学ぶ機会を提供しました。子どもの頃から食の大切さや農業の重要性を知ってもらいたいという考えのもと、たくさんの子どもたちが汗を流し学びました。



田植え体験



お茶摘み体験

(5) 地域ふれ愛活動を通じた仲間づくり・地域活性化

地域に根ざした地域ふれ愛活動の実施

平成30年度実績	令和元年度計画
各地域で農業体験や地域の特産品を活かしたイベントなど12の活動を実施し、組合員・地域住民との絆を深めました。	より多くの組合員とともに活動を行い、地域に根ざした支店・センターを目指します。

活動においては、地域の部農会・地区運営委員・青壮年部・女性部など多くの方々に協力いただき、農業体験やイベントを開催することができました。

地域の拠りどころとして親しまれ、地域に貢献するJAとなれるよう、職員全員が各地区で取り組みました。



農業体験



大中寺芋収穫祭

(6) 地域の期待に応える活動の展開

年金友の会会員を対象とした生きがい・交流の場の創出

	平成30年度実績	令和元年度計画
イベント内容	歌謡ショー 2, 473人	歌謡ショー 2, 500人
	旅行 843人	旅行 1, 000人
	そば打ち教室 90人	そば打ち教室 100人
	ヨガ教室 41人	ヨガ教室 50人

会員のみなさまに、健康で楽しく豊かな生活を築いていただくため「歌謡ショー」「旅行」「そば打ち教室」「ヨガ教室」などを実施し、多くの方々に楽しんでいただきました。

(7) 地域への金融サービス提供に対する取り組み

新規取組



移動店舗車「さんみみ号」

平成31年3月より、移動店舗車「さんみみ号」を導入しました。入出金や振込手続きが移動店舗車で可能となり、さまざまな形での金融サービス提供に取り組めます。

また、大規模災害発生時には、被災地への車両派遣も想定しています。

(8) 准組合員の農業やJAに対する理解促進

准組合員向け情報発信強化

平成30年度実績	令和元年度計画
准組合員用情報誌「なんじゃ!」を発行	准組合員用情報誌「なんじゃ!」を発行
地域ふれ愛活動パンフレットの発行	准組合員訪問の実施
准組合員訪問の実施	広報モニターへの参画

准組合員に事業利用や活動参加を通じて、「地域農業や地域社会の発展を支える応援団」になっていただけるよう、農業体験などの食農教育活動を充実させるとともに、産直市・朝市の充実を図り、安全・安心な食を提供していきます。

また、農業体験活動や地元の農畜産物情報を、准組合員へしっかりとお伝えし、地域農業への理解と支持を高めていきます。



准組合員訪問活動



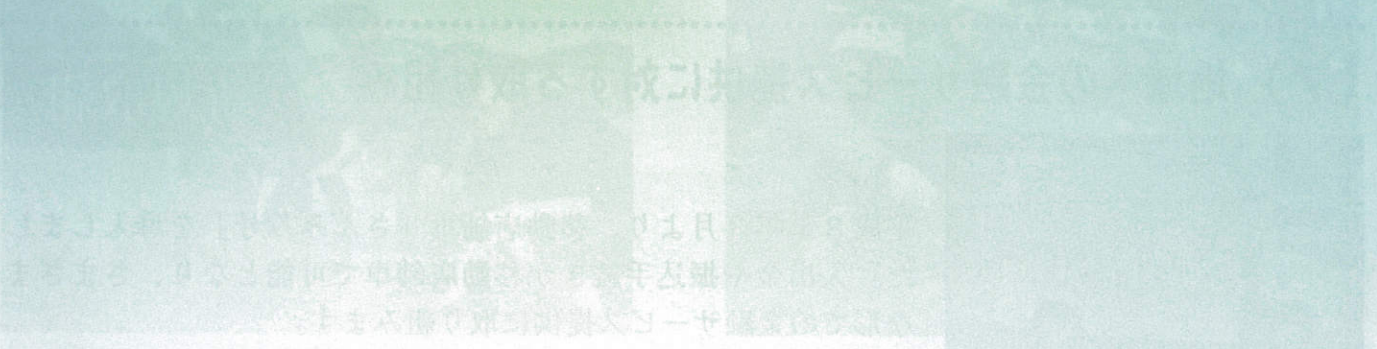
准組合員用情報誌「なんじゃ!」

(4) 組合員等の言・動向の把握を目的に新聞見聞録 (3)

南駿リースワールの突如閉鎖の噂の流布・ゆかりを主として組合員会長の式金平

人0000000000	人0000000000	人0000000000	人0000000000
人0000000000	人0000000000	人0000000000	人0000000000

「人0000000000」の式金平は、南駿リースワールの突如閉鎖の噂の流布・ゆかりを主として組合員会長の式金平



南駿リースワールの突如閉鎖の噂の流布・ゆかりを主として組合員会長の式金平

(5) 南駿農業協同組合 南駿リースワールの突如閉鎖の噂の流布 (8)

南駿リースワールの突如閉鎖の噂の流布・ゆかりを主として組合員会長の式金平

南駿農業協同組合

〒410-0822 静岡県沼津市下香貫字上障子 415-1